電子打楽器　DPS-100

拍調（はくちょう）

取扱説明書

この度は電子打楽器「拍調」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全に、そして末永くご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった取扱説明書は、なくさないように大切に保管してください。

SUZUKI

使用上のご注意

警告

改造・分解は危険です

改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

付属のACアダプター以外は使用しないでください

付属のACアダプター（AD1-1010)以外は、絶対に使用しないでください。故障の原因となるだけでなく感電・発熱・火災の恐れがあり大変危険です。

異常を感じたら電源を切ってください

万一異臭や発熱など異常を感じたときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはスズキの各営業所にご連絡ください。

濡れた手で触らないで

濡れた手で電源プラグ・コードおよび本体に触れないでください。感電の恐れがあり大変危険です。

水・湿気は大敵です

水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

異物を入れないでください

本製品に異物や液体を入れないようにしてください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

ホコリっぽい場所は避けてください

ホコリの多い場所での使用・保管は避けてください。故障や発火の原因になることがあります。

コードは引っ張らないでください

電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。感電の恐れがあり大変危険です。

ACアダプターは必ずAC100Vの電源でご使用ください

指定以外のコンセントに差し込むと、火災や感電の恐れがあり大変危険です。

使用上のご注意

⚠ 注意

熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなるところでの使用・保管は避けてください。

衝撃を与えないでください

本製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷を付けるだけでなく、故障の原因になります。

不安定な場所に置かないでください

本製品を不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬケガをする危険があります。

使わないときはACアダプターを抜いてください

楽器保護のため、ご使用の後は、必ず電源スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いてください。

磁気を使用している製品の近くは避けてください

本製品に搭載されているスピーカーは防磁型ではありませんので、テレビ、カセットテープ、フロッピーディスクなど、磁気を使用している製品の近くで使用しないでください。

お手入れは柔らかい布で

お手入れは柔らかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。

もくじ

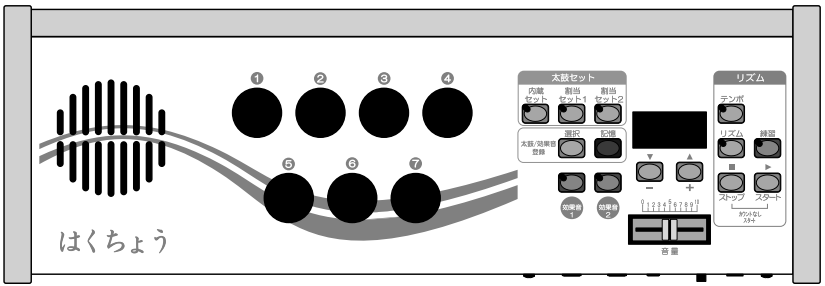
使用上のご注意・・・・・・・・・・・・P 1
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
箱の中身を確認しましょう・・・・・・・P 4
各部の名称とはたらき・・・・・・・・・P 5
演奏する前に・・・・・・・・・・・・・P 7
音を出してみましょう・・・・・・・・・P 9
内蔵セット一覧・・・・・・・・・・・・P 12
割当セットを使う・・・・・・・・・・・P 19
太鼓パッド音色一覧・・・・・・・・・・P 21
リズムを鳴らす・・・・・・・・・・・・P 23
効果音を鳴らす・・・・・・・・・・・・P 25
練習機能・・・・・・・・・・・・・・・P 27
その他の機能・・・・・・・・・・・・・P 32
故障と思う前に・・・・・・・・・・・・P 34

仕様

太鼓パッド数	7
打楽器音色数	190 音色
効果音色数	82 音色
内蔵セット数	27 セット
割当セット数	2 セット
内蔵リズム数	リズム44種類 ＋ メトロノーム7種類
外部端子	外部出力、ヘッドホン出力、 フットスイッチ入力、アダプター入力
外部出力	200 mVrms
スピーカー	7.7 ㎝　出力 2 W
電源	DC 10 V
音源	PCM VASE Ⅲ
寸法	幅45×奥行15.3×高さ6.3 ㎝
重量	2.1kg
付属品	ACアダプター(AD1-1010)、取扱説明書、 簡単操作ガイド、音色テンプレート（4枚）、 ソフトケース

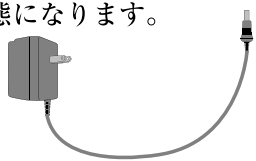
箱の中身を確認しましょう

拍調　本体



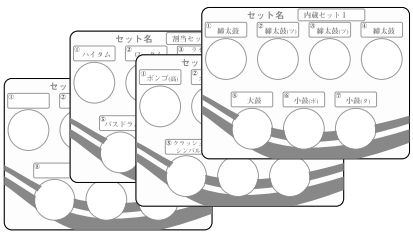
ACアダプター（AD1-1010）

本体フロントパネルの「アダプター端子」に接続した後、家庭用コンセントに差し込み、本体の電源スイッチを「入」にすると本体の電源が入り、使用できる状態になります。



テンプレート（4枚）

打楽器音色の内蔵セット1・8・21に対応したテンプレートと、音名が書かれていないテンプレートの4種類があります。何も書かれていないものは、コピーなどしてオリジナルのセットを記入しておくと、便利です。



取扱説明書及び簡単操作ガイド

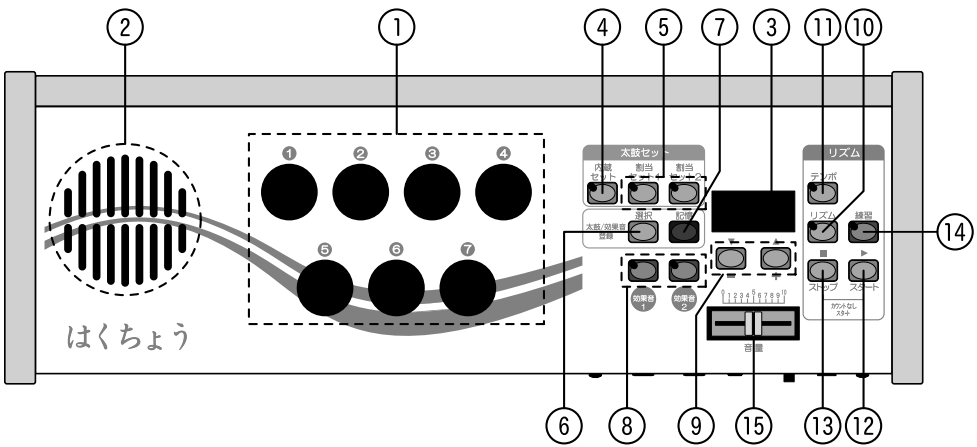
本製品の取り扱いに関しては取扱説明書をご覧ください。
簡単操作ガイドは、本製品の基本的な操作を記してあります。

ソフトケース

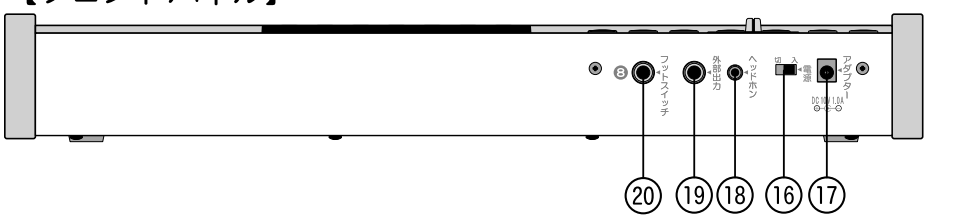
本体、ＡＣアダプター、テンプレート、取扱説明書、簡単操作ガイドなどをまとめて収納でき、持ち運びも便利です。

各部の名称とはたらき

【トップパネル】



【フロントパネル】



【トップパネル】

① **太鼓パッド**
指でたたくと打楽器等の音が鳴ります。

② **モニタースピーカー**
ここから音が出ます。
ヘッドホンが接続されているときは発音しません。

③ **ディスプレイ**
各設定の数値や状態を表示します。

④ **「内蔵セット」ボタン（11ページ）**
内蔵セットを選択します。

⑤ **「割当セット」ボタン（19ページ）**
割当セットを選択します。

⑥ **「選択」ボタン（19・25ページ）**
太鼓パッドや効果音ボタンの音を変えるときに使用します。

⑦ **「記憶」ボタン（19ページ）**
各太鼓パッドや効果音ボタンの音色を割当セットに記憶させるときに使用します。

⑧ **「効果音」ボタン（25ページ）**
効果音を発音します。

【トップパネル】

⑨「－」、「＋」ボタン
各種設定を変えるたり、数値を変化させたりするのに使います。押し続けると値が連続的に変化します。

⑩「リズム」ボタン　　(23ページ)
リズムを鳴らすときなどに使用します。
リズムの番号をディスプレイに表示します。

⑪「テンポ」ボタン　　(24ページ)
テンポを変えたいときに使用します。

⑫「スタート」ボタン　(23ページ)
リズムやメトロノームがスタートします。

⑬「ストップ」ボタン　(23ページ)
リズムやメトロノームなどが停止します。

⑭「練習」ボタン　　(27ページ)
練習機能を使用したいときに使います。

⑮音量ツマミ
全体（モニタースピーカー・ヘッドホン出力・外部出力）の音量を調節します。

【フロントパネル】

⑯電源スイッチ
スイッチを「入」にすると電源が入ります。

⑰アダプター端子
付属のACアダプター（AD1-1010）を接続します。

⑱ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続します。モニタースピーカー②からは音が出なくなります。

⑲外部出力端子
外部アンプなどと接続するときに使用します。（モノラル出力）

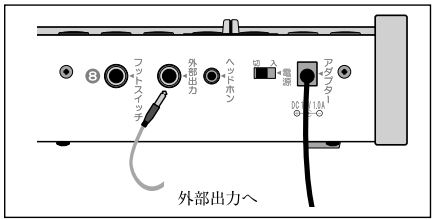
⑳フットスイッチ端子
別売のフットスイッチ（FS-9H）を接続します。

アンプとの接続

本製品をアンプ（別売）と接続すると、大音量での演奏が楽しめます。

① 本製品およびアンプの電源を切ります。

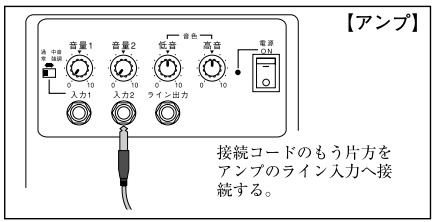
② 接続コードを「外部出力端子」に接続します。



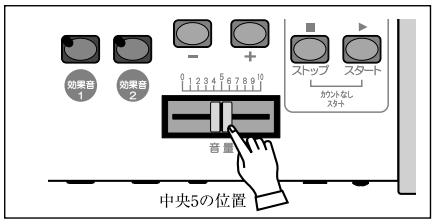
③ 接続コードのもう片方をアンプの入力端子に差し込みます。

④ 本製品の電源を入れます。

⑤ アンプの電源を入れます。



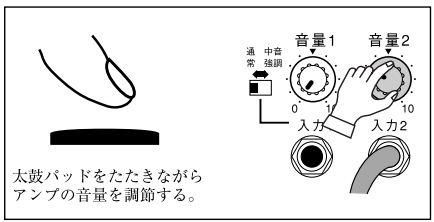
⑥ 本製品の「音量ツマミ」を中央5の位置にします。



⑦ 太鼓パッドをたたきながら、アンプの音量を調節します。

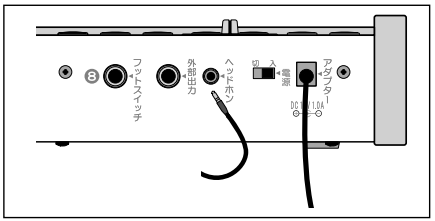
⑧ 本製品の「音量ツマミ」をお好みの位置に調節します。

※「外部出力端子」の使用中にも本体のモニタースピーカーから音が出ます。



ヘッドホンの使用

本製品は、ヘッドホンを接続し、演奏することができます。
使用できるヘッドホンは、ミニフォーンプラグのステレオ及びモノラルヘッドホンです。
ただし出力はモノラルのため、ステレオヘッドホンを使用の場合は左右同じ音が出ます。



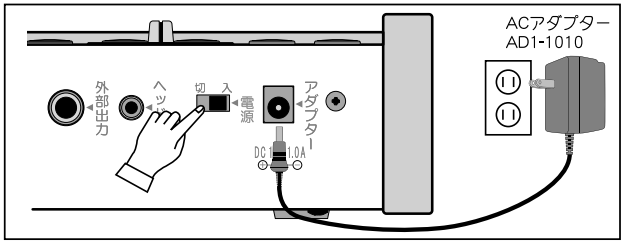
① ヘッドホンを「ヘッドホン端子」に接続します。

② 演奏すると、ヘッドホンから音が聞こえ、モニタースピーカーからは
音が出なくなります。

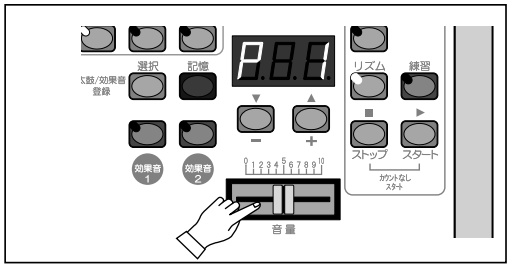
※外部出力端子にアンプなどが接続されている場合は、アンプより音が出ます。

音を出してみましょう

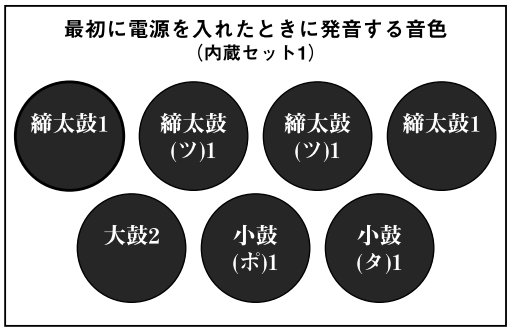
① 付属の「ACアダプター」を本体正面のアダプター端子に接続した後、家庭用コンセントに差込み、「電源スイッチ」を入れます。
電源を入れると、「内蔵セット」のランプが点灯し、ディスプレイに『P　1』と表示されます。



② 「音量ツマミ」を中央5の位置に上げます。

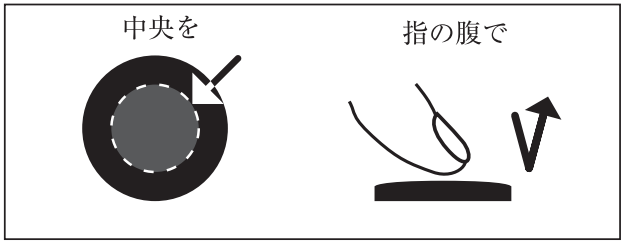


③ 太鼓パッドをたたいてみましょう。
各太鼓パッドに応じた音が出ます。

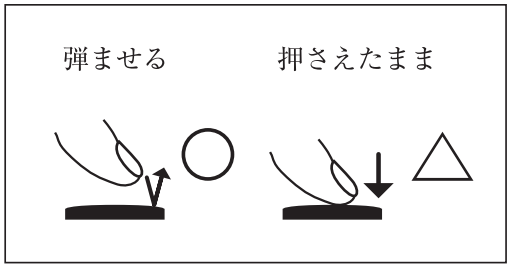


太鼓パッドのたたき方

① 太鼓パッドの中央を指の腹でたたきます。



② たたいた指は、そのまま太鼓パッドを押さえずに、
弾ませるようにたたくとよりよい演奏ができます。



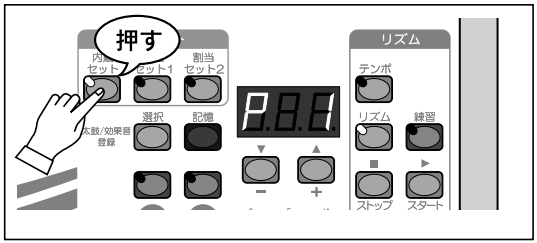
③ 太鼓パッドをたたく強さにより、強弱がつきます。
(工場出荷時)

※極端に強くたたきすぎたり、スティックなど指以外のもの
でたたきますと、パッドを破壊する恐れがあります。
※太鼓パッドの感度は調整することができます。詳しくは、
33ページをご参照ください。

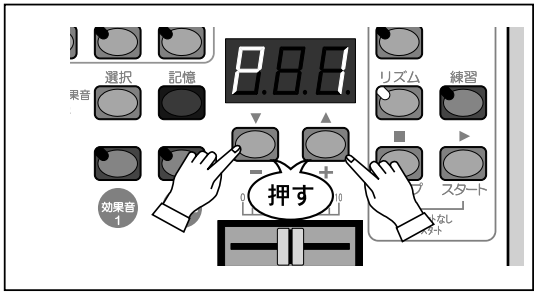
音を出してみましょう

太鼓セットを変えてみましょう（内蔵セットの切り替え）

① 電源を入れた状態で「内蔵セット」ボタンを押します。
ディスプレイに現在選択されている内蔵セット番号「P○○」が表示されます。

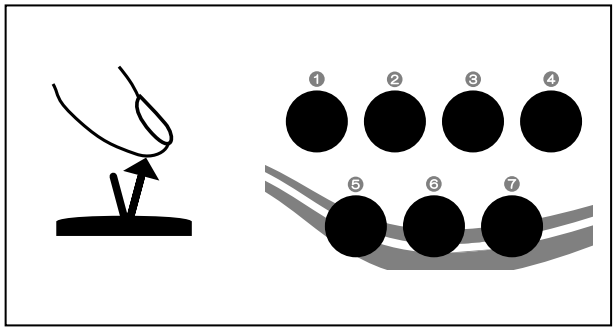


② 「 ▼ 」、「 ▲ 」ボタンを押してセット番号を切り替えます。



③ 太鼓パッドをたたいてみましょう。
セットの番号に応じた音が出ます。

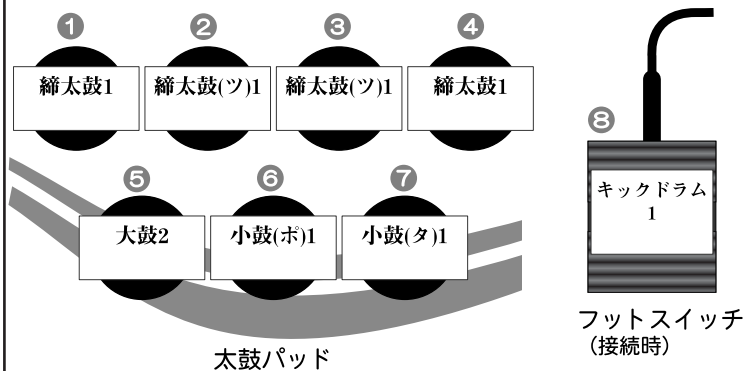
※各セットの音色はP12～18をご参照ください。



内蔵セット一覧

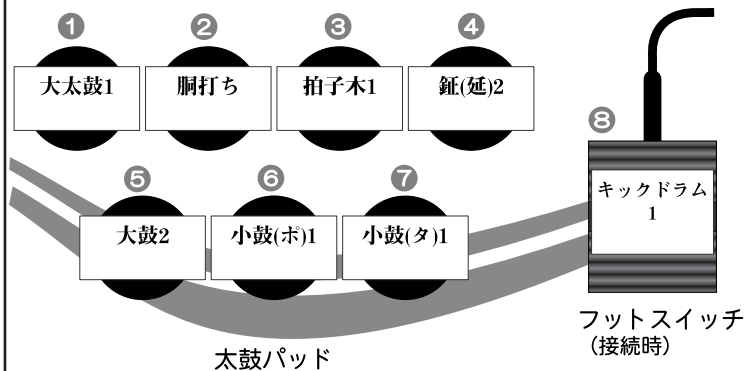
P 1 和打楽器 1

邦楽アンサンブルに良く使われる、締太鼓、大鼓、小鼓のセットです。



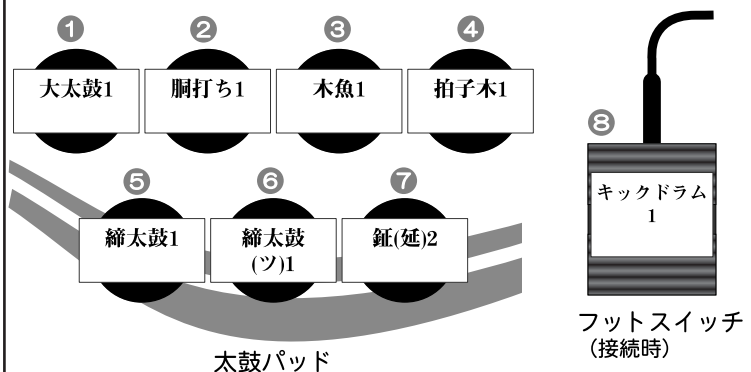
P 2 和打楽器 2

邦楽アンサンブルに良く使われる、大太鼓、拍子木、鉦、大鼓、小鼓のセットです。



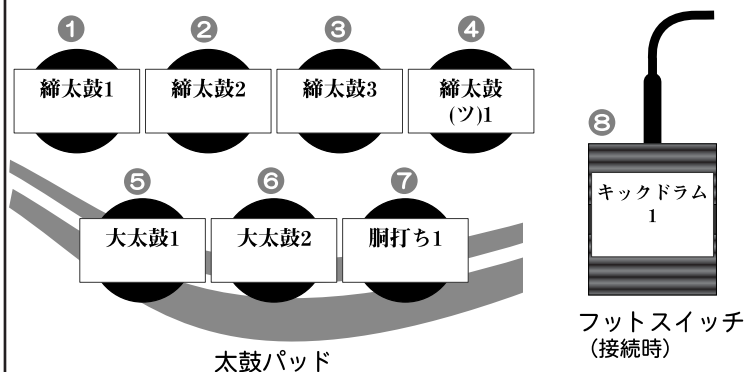
P 3 和打楽器 3

邦楽アンサンブルに良く使われる、大太鼓、木魚、拍子木、締太鼓、鉦のセットです。



P 4 大太鼓＆締太鼓

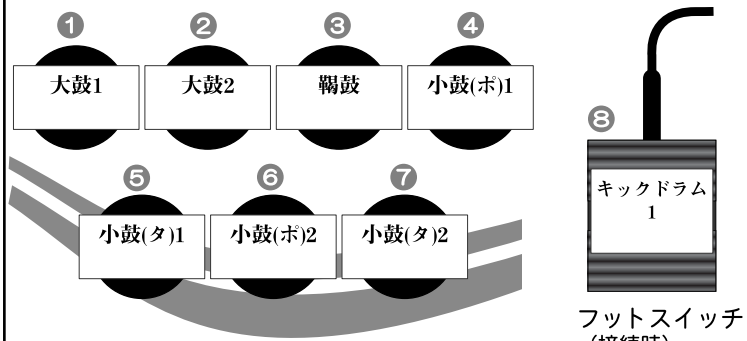
大太鼓と締太鼓セットです。



内蔵セット一覧

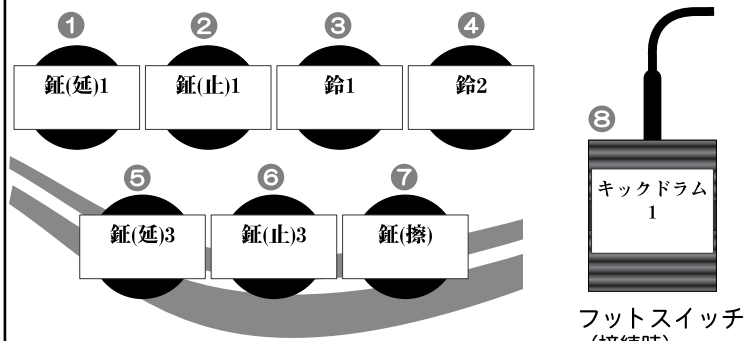
P 5 大鼓＆小鼓

大鼓と小鼓のセットです。



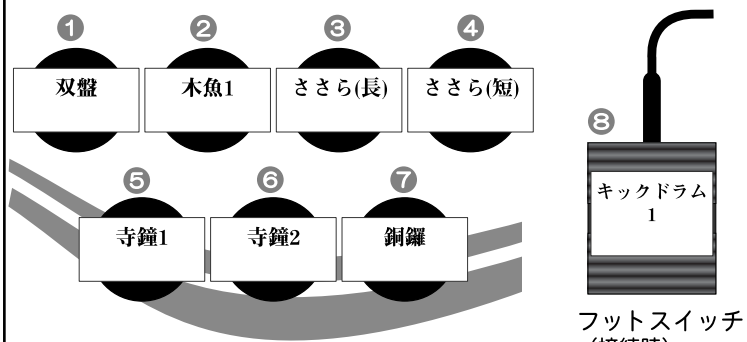
P 6 鉦＆鈴

鉦と鈴のセットです。



P 7 和打楽器各種

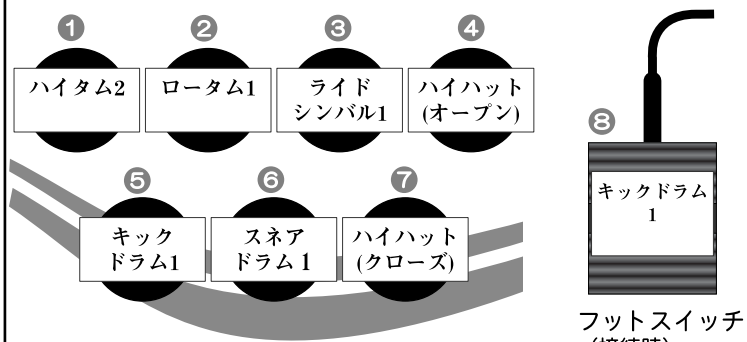
双盤、木魚、ささら、寺鐘、銅鑼のセットです。



P 8 スタンダードセット１

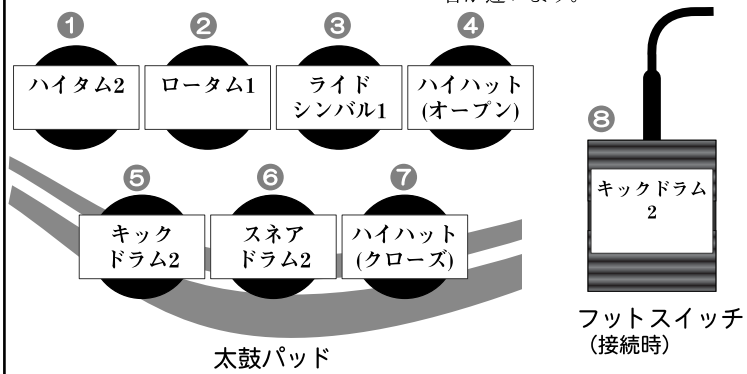
（出荷時割当セット１）

ドラムセットを指で演奏しやすく配置したセットです。



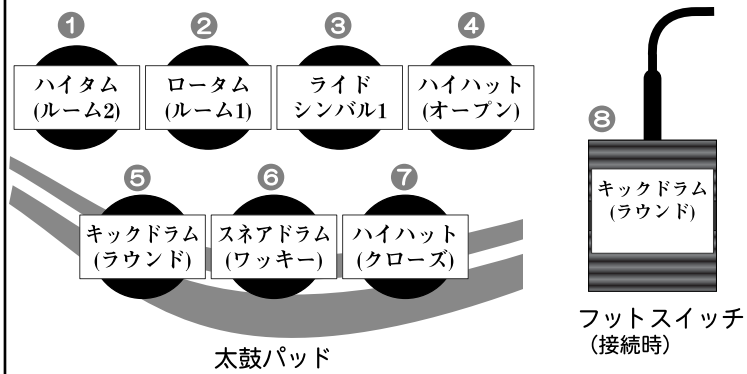
P 9 スタンダードセット2

『P 8』の音違いのセットです。
スネアドラムとキックドラムの音が違います。



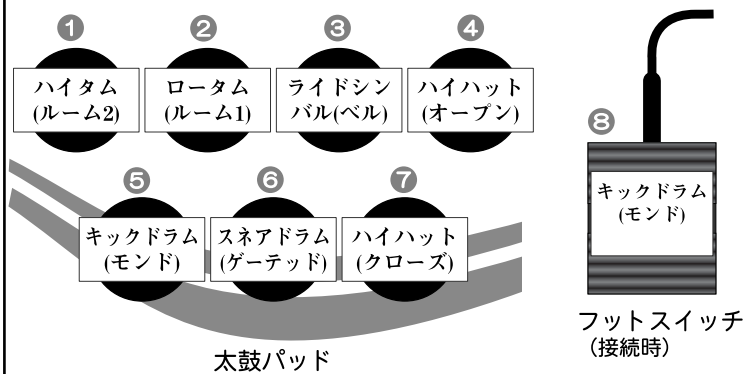
P 10 ルームセット

『P 8』の音違いのセットです。
ルームセットになります。



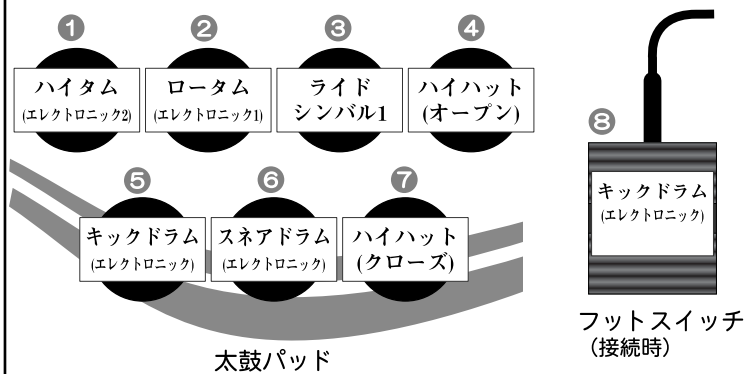
P 11 パワーセット

『P 8』の音違いのセットです。
パワー感のあるセットになります。



P 12 エレクトロニックセット

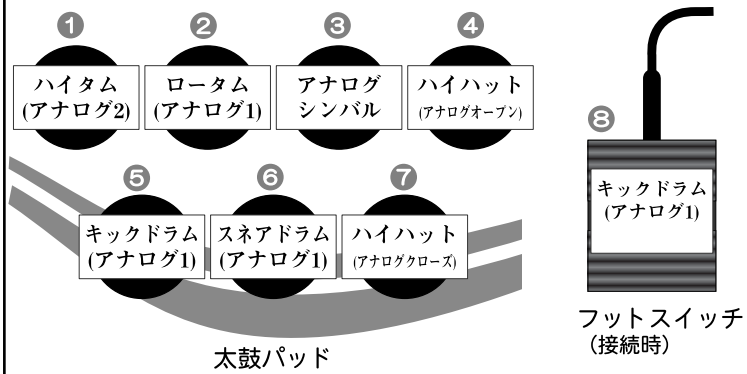
『P 8』の音違いのセットです。
電子ドラムの音です。



内蔵セット一覧

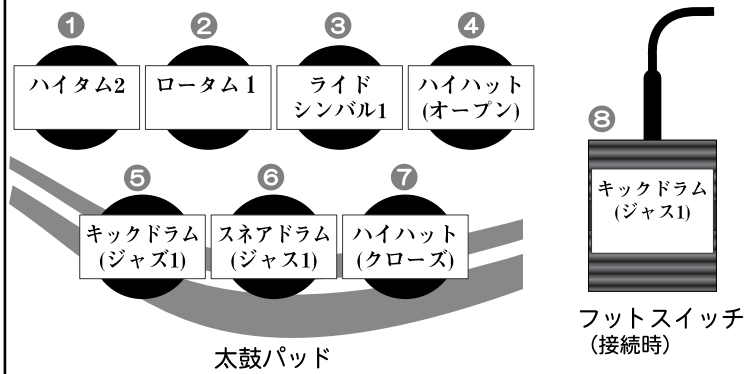
P 13 アナログセット

『P 8』の音違いのセットです。
アナログリズムマシンの音です。



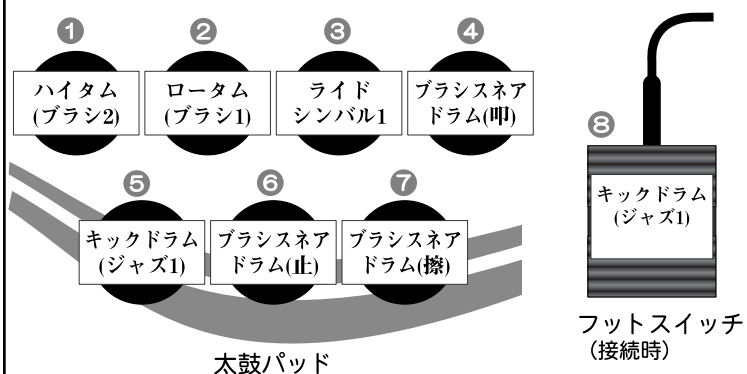
P 14 ジャズセット

『P 8』の音違いのセットです。
ジャズセットの音です。



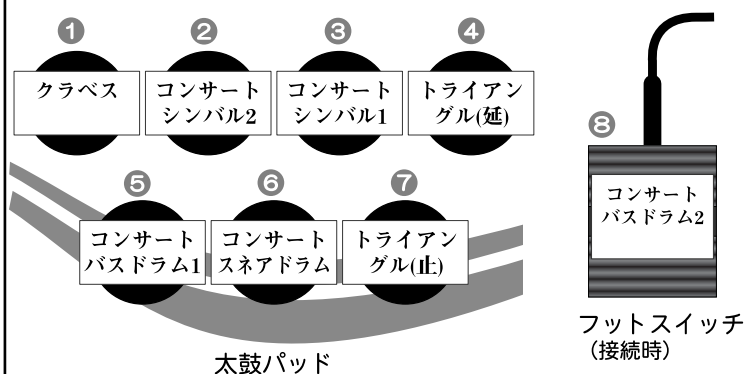
P 15 ブラシセット

ブラシを使ってたたいたドラムセットです。



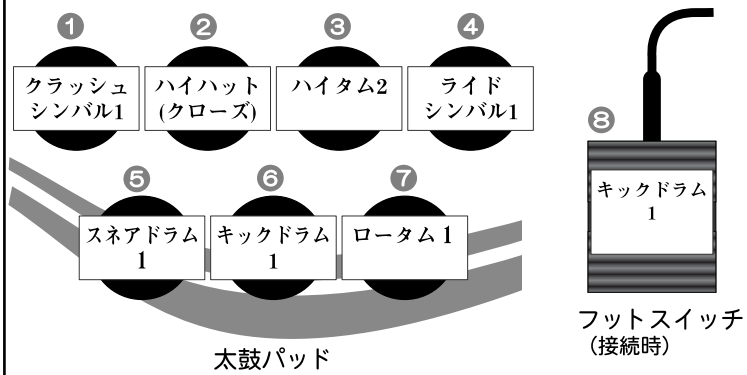
P 16 オーケストラセット

オーケストラによく使用される音のセットです。



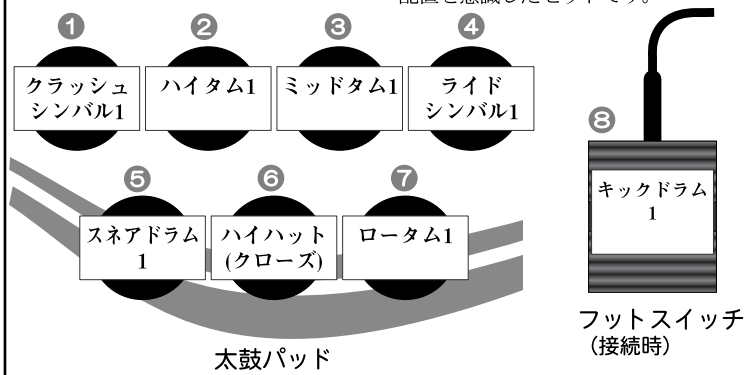
P17 リアルドラムセット

ドラムセットの配置を意識したセットです。



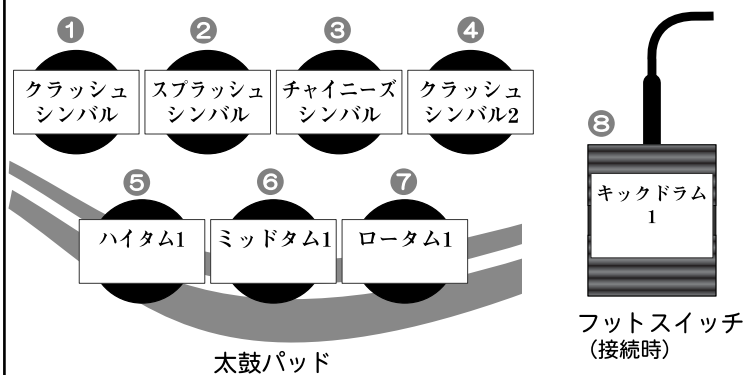
P18 リアルドラムセット（キックレス）

フットスイッチでキックドラムを使用することを前提としてドラムセットの配置を意識したセットです。



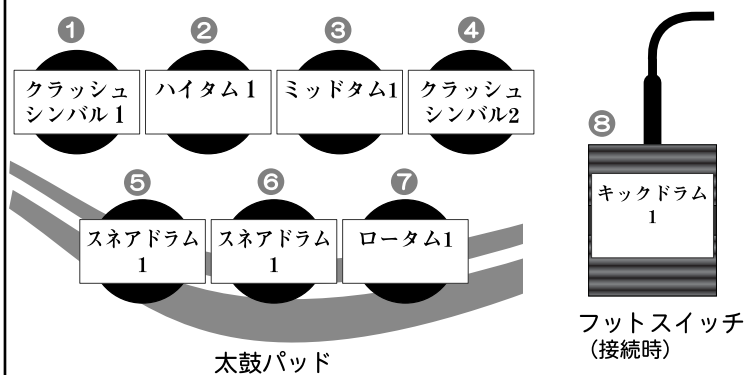
P19 シンバル＆タム

リズムを再生させ、フィルイン等を装飾するのに便利なセットです。



P20 シンバル＆タム＆スネア

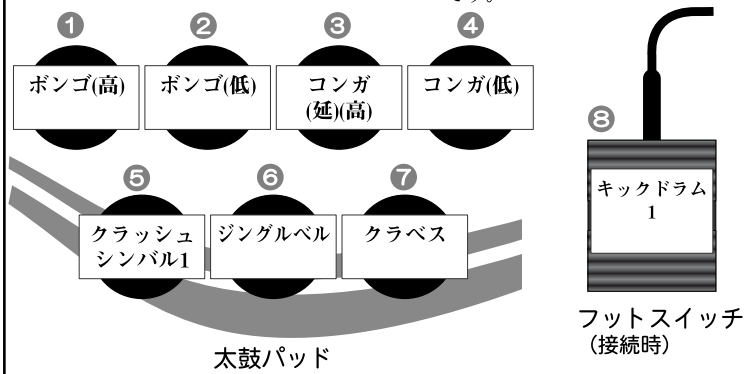
『P19』と同様リズムを再生させ、フィルイン等を装飾するのに便利なセットです。



内蔵セット一覧

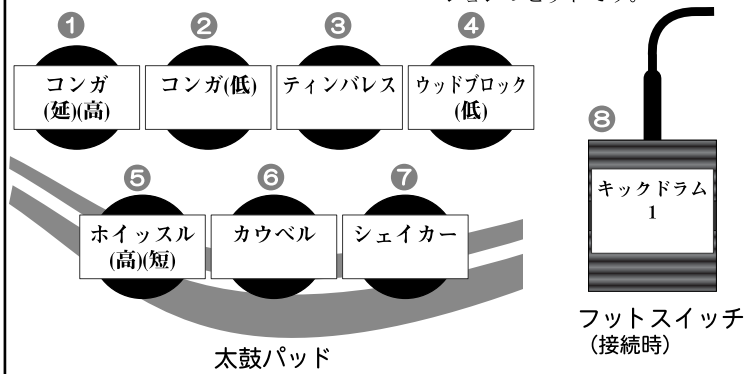
P21 パーカッションセット1
（出荷時割当セット2）

よく使用される音を配置したラテンパーカッションのセットです。



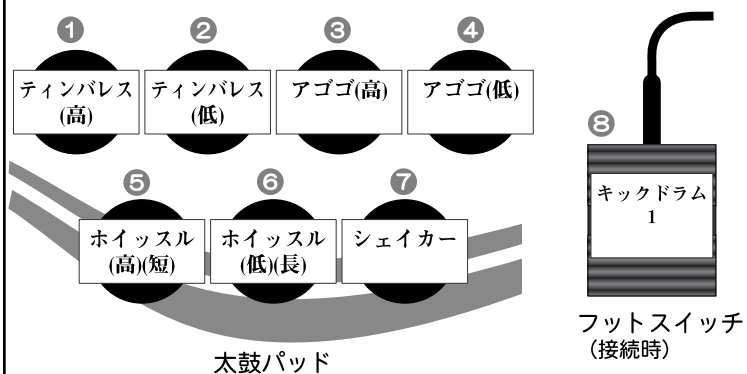
P22 パーカッションセット2

よく使用される音をなるべく多音色配置したラテンパーカッションのセットです。



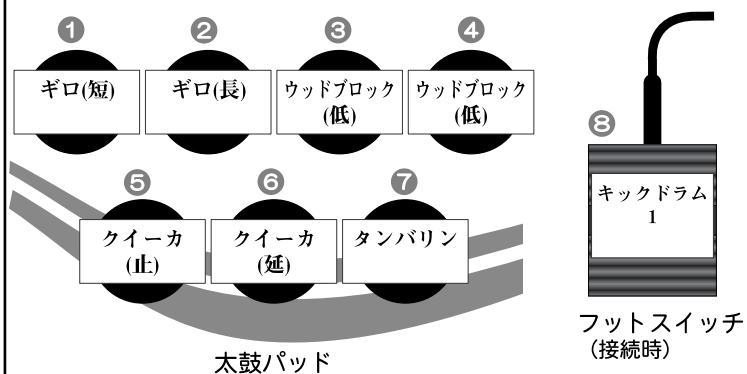
P23 パーカッションセット3

シェイカー、アゴゴ、ホイッスル、ティンバレスのセットです。



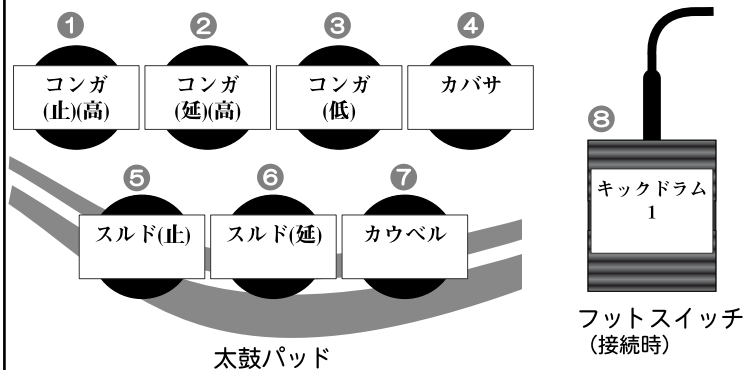
P24 パーカッションセット4

ギロ、ウッドブロック、クイーカ、タンバリンのセットです。



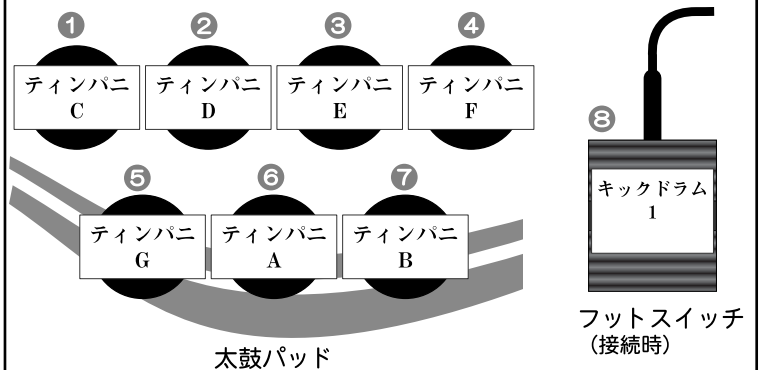
P25 パーカッションセット5

コンガ、カバサ、スルド、カウベルのセットです。



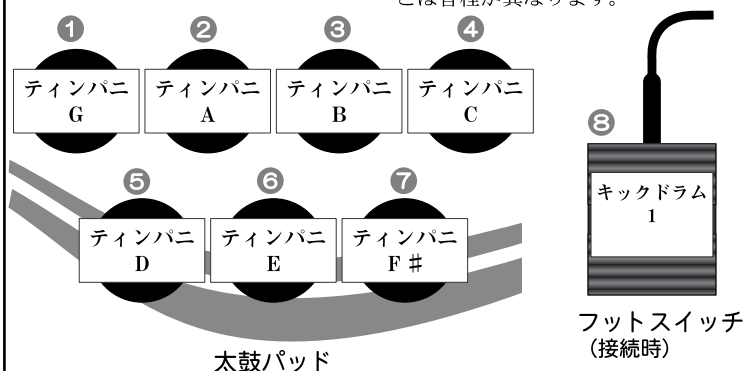
P26 ティンパニセット1

ティンパニを使いやすい音程に配列したセットです。



P27 ティンパニセット2

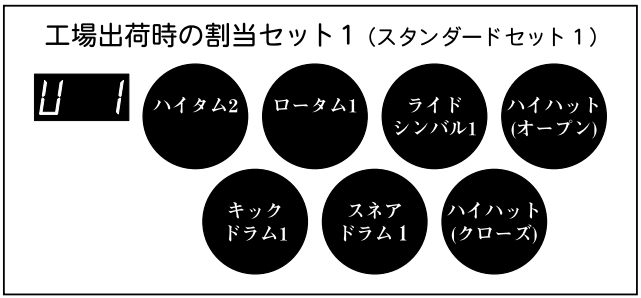
ティンパニを使いやすい音程に配列したセットです。セット1とは音程が異なります。

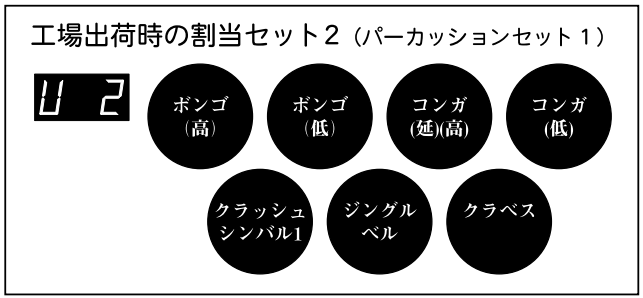


割当セットを使う

割当セットとは

割当セットでは、各太鼓パッドや効果音ボタンに自分で選んだ音色や効果音を記憶させることができます。
工場出荷時には、割当セット1、2にはそれぞれ内蔵セット8と21の音色が割り当てられています。





割当セットに音色を登録しよう

①「選択」ボタンを押しながら変更したい太鼓パッドをたたきます。
またフットスイッチの機能が音色の発音になっている場合（32ページ）は、「選択」ボタンを押しながら、フットスイッチを踏むと、音色を選択することができます。ディスプレイには現在選択されている音色の番号と選択された太鼓パッド、またはフットスイッチの番号が交互に表示されます。

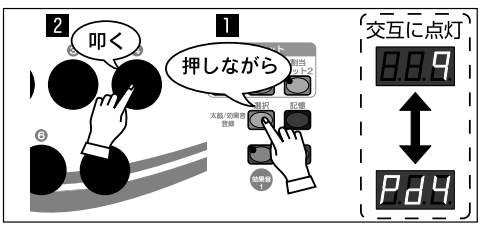
②「▼」、「▲」ボタンを押して、音色を切り替えます。

21ページ音色一覧参照

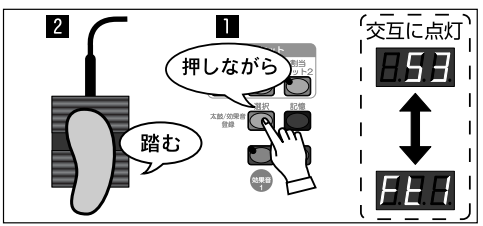
※音色番号0を選ぶと、その太鼓パッドからは音が出なくなります。

③ ①～②の操作を繰り返し、必要な太鼓パッドの音色を選びます。

※割当の操作を途中でやめるときには、「内蔵セット」ボタンもしくは「割当セット」ボタンのいずれかを押してください。

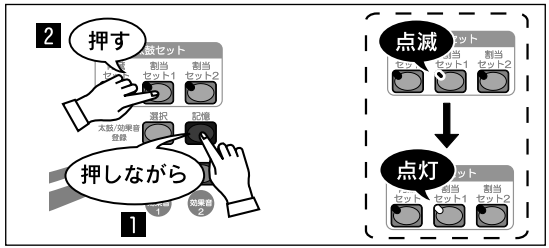


太鼓パッドの場合



フットスイッチの場合

④「記憶」ボタンを押しながら、「割当セット１」または「割当セット２」の記憶させたいセットのボタンを押します。
押された「割当セット」のランプが 点滅 → 点灯し、記憶を完了します。



ワンポイントアドバイス

内蔵セットの音色をそのまま割当セットに記憶させることもできます。お好みセットを選択し、④の手順で記憶させてください。
内蔵セットのある部分だけを変更する場合は、あらかじめそのセットを選択しておいてから、記憶を開始すると便利です。
「割当セット」には、そのときに選択されている効果音の音色番号も記録されます。
電源を切っても、「割当セット」に記憶された内容は消えません。

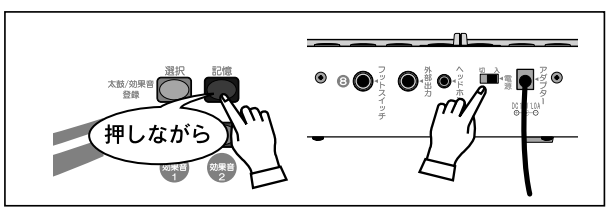
出荷時の状態に戻す

割当セットに記憶させた内容を、出荷時の状態に戻すことができます。

①「記憶」ボタンを押しながら、電源を入れます。

②ディスプレイに『Ain』の表示が出るまで、
「記憶」ボタンを押し続けます。
初期化が終了すると、ディスプレイに『P 1』
と表示されます。

※太鼓パッドの感度調整も工場出荷時に戻ります。



太鼓パッド音色一覧

音色一覧

全190音色＋1（無音）

番号	音色名	番号	音色名	番号	音色名	番号	音色名
0	サイレント（無音）	24	桶胴太鼓	48	掛け声（オー）	72	スネアドラム（オープンリム）
1	大太鼓　1	25	拍子木　1	49	掛け声（ホ）	73	スネアドラム（ゲーテッド）
2	大太鼓　2	26	拍子木　2	50	掛け声（ヨ）2	74	スネアドラム（エレクトロニック）
3	大太鼓　3	27	木魚　1	51	掛け声（イヨー）2	75	スネアドラム（アナログ1）
4	大太鼓　4	28	木魚　2	52	掛け声（イヤー）2	76	スネアドラム（アナログ2）
5	大太鼓　5	29	鉦（延）1	53	キックドラム　1	77	スネアドラム（ジャズ1）
6	樽太鼓	30	鉦（止）1	54	キックドラム　2	78	スネアドラム（ジャズ2）
7	胴打ち　1	31	鉦（延）2	55	キックドラム（ラウンド）	79	ブラシスネアドラム（止）
8	胴打ち　2	32	鉦（止）2	56	キックドラム（バーブ）	80	ブラシスネアドラム（叩）
9	締太鼓　1	33	鉦（延）3	57	キックドラム（モンド）	81	ブラシスネアドラム（擦）
10	締太鼓　2	34	鉦（止）3	58	キックドラム（エレクトロニック）	82	コンサートスネアドラム
11	締太鼓　3	35	鉦（擦）	59	キックドラム（アナログ1）	83	ハイタム　1
12	締太鼓（ツ）1	36	鈴　1	60	キックドラム（アナログ2）	84	ハイタム　2
13	締太鼓　4	37	鈴　2	61	キックドラム（ジャズ1）	85	ミッドタム　1
14	締太鼓　5	38	双盤	62	キックドラム（ジャズ2）	86	ミッドタム　2
15	締太鼓（ツ）2	39	ささら（長）	63	コンサートバスドラム　1	87	ロータム　1
16	大鼓　1	40	ささら（短）	64	コンサートバスドラム　2	88	ロータム　2
17	大鼓　2	41	寺鐘　1	65	スティック	89	ハイタム（ルーム1）
18	鞨鼓	42	寺鐘　2	66	サイドスティック	90	ハイタム（ルーム2）
19	小鼓（ポ）1	43	銅鑼	67	アナログリムショット	91	ミッドタム（ルーム1）
20	小鼓（タ）1	44	掛け声（ヨ）1	68	スネアドラム　1	92	ミッドタム（ルーム2）
21	小鼓（ポ）2	45	掛け声（ハ）	69	スネアドラム　2	93	ロータム（ルーム1）
22	小鼓（タ）2	46	掛け声（イヤー）1	70	スネアドラム（ワッキー）	94	ロータム（ルーム2）
23	大拍子	47	掛け声（イヨー）1	71	スネアドラム（ピッコロ）	95	ハイタム（エレクトロニック1）

音色一覧

全190音色＋1（無音）

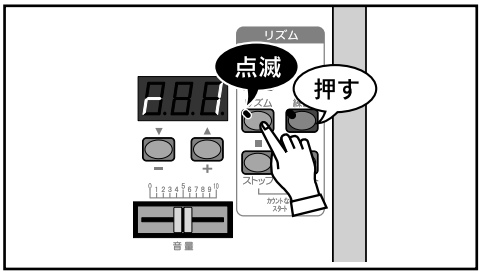
番号	音色名	番号	音色名	番号	音色名	番号	音色名
96	ハイタム（エレクトロニック2）	120	クラッシュシンバル　1	144	ティンバレス（低）	168	ティンパニ　F♯
97	ミッドタム（エレクトロニック1）	121	クラッシュシンバル　2	145	アゴゴ（高）	169	ティンパニ　G
98	ミッドタム（エレクトロニック2）	122	チャイニーズシンバル	146	アゴゴ（低）	170	ティンパニ　G♯
99	ロータム（エレクトロニック1）	123	スプラッシュシンバル	147	カバサ	171	ティンパニ　A
100	ロータム（エレクトロニック2）	124	リバースシンバル	148	マラカス	172	ティンパニ　A♯
101	ハイタム（アナログ1）	125	アナログシンバル	149	マラカス（アナログ）	173	ティンパニ　B
102	ハイタム（アナログ2）	126	コンサートシンバル　2	150	シェイカー	174	ティンパニ　C
103	ミッドタム（アナログ1）	127	コンサートシンバル　1	151	ホイッスル（高）（短）	175	ティンパニ　C♯
104	ミッドタム（アナログ2）	128	ライドシンバル　1	152	ホイッスル（低）（長）	176	ティンパニ　D
105	ロータム（アナログ1）	129	ライドシンバル　2	153	ギロ（短）	177	ティンパニ　D♯
106	ロータム（アナログ2）	130	ライドシンバル（ベル）	154	ギロ（長）	178	ティンパニ　E
107	ハイタム（ブラシ1）	131	ハンドクラップ	155	クラベス	179	ティンパニ　HiF
108	ハイタム（ブラシ2）	132	タンバリン	156	クラベス（アナログ）	180	メトロノーム（クリック）
109	ミッドタム（ブラシ1）	133	カウベル	157	ウッドブロック（高）	181	メトロノーム（ベル）
110	ミッドタム（ブラシ2）	134	ビブラスラップ	158	ウッドブロック（低）	182	タブラ（テ）
111	ロータム（ブラシ1）	135	ボンゴ（高）	159	クイーカ（止）	183	タブラ（トゥン）
112	ロータム（ブラシ2）	136	ボンゴ（低）	160	クイーカ（延）	184	タブラ（ゲ）
113	ハイハット（クローズ）	137	コンガ（止）（高）	161	トライアングル（止）	185	ハイキュー
114	ハイハット（ペダル）	138	コンガ（延）（高）	162	トライアングル（延）	186	スラップ
115	ハイハット（オープン）	139	コンガ（低）	163	ジングルベル	187	スクラッチ（プッシュ）
116	ハイハット（アナログクローズ1）	140	コンガ（アナログ）（高）	164	カスタネット	188	スクラッチ（プル）
117	ハイハット（アナログオープン1）	141	コンガ（アナログ）（中）	165	スルド（止）	189	スクエアクリック
118	ハイハット（アナログクローズ2）	142	コンガ（アナログ）（低）	166	スルド（延）	190	フィンガースナップ
119	ハイハット（アナログオープン2）	143	ティンバレス（高）	167	ティンパニ　F		

リズムを鳴らす

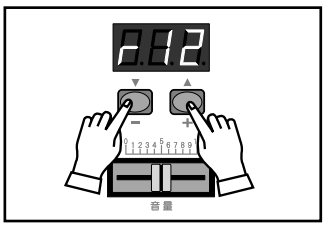
リズムを鳴らす

本機には、44種類のリズムと7種類のメトロノームが内蔵されています。

① 「リズム」ボタンを押します。
リズムボタンのランプが点滅し、ディスプレイに現在選択されている
リズム番号『r○○』またはメトロノームの拍子が表示されます。

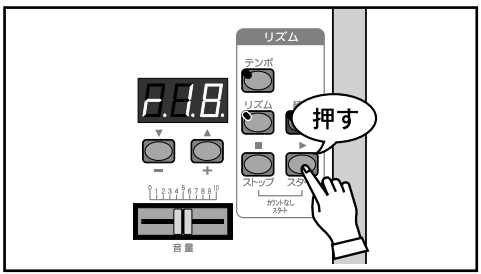


② 「▼」、「▲」ボタンを押してリズムまたはメトロノームの拍子を選びます。
24ページのリズム一覧をご参照ください。



③ 「スタート」ボタンを押すと、カウントの後にリズムが再生されます。

④ 「ストップ」ボタンを押すと、リズムが停止します。

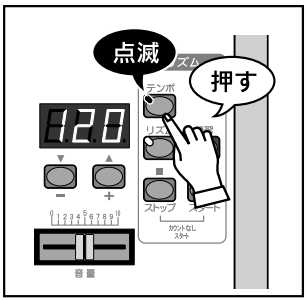


ワンポイントアドバイス

- 「ストップ」ボタンを押しながら「スタート」ボタンを押すと、カウントは入りません。
- 再生中にリズムの変更はできますが、テンポは変更したリズムの初期テンポになります。
- リズム再生中に再度「スタート」ボタンを押すと、小節の最初からリズムが再び、再生されます。

テンポを変える

リズムのテンポを変更することができます。



① 「テンポ」ボタンを押します。
「テンポ」ボタンが点滅し、ディスプレイに現在のテンポが表示されます。

② 「 ▼ 」、「 ▲ 」ボタンを押してテンポを変えます。

※テンポボタンを押す間隔でもテンポを決めることができます。（タッチテンポ）
テンポボタンを変えたい速さで数回押します。ボタンを押した間隔でテンポが設定されます。

リズム一覧

( )内は初期テンポ

表示	リズム名	表示	リズム名	表示	リズム名	表示	リズム名
0／4	メトロノーム 0／4拍子 (♩=120)	r 7	4ビート 3 (♩=170)	r 20	民謡 2 (♩=140)	r 33	ロック (♩=120)
2／4	メトロノーム 2／4拍子 (♩=120)	r 8	2ビート 1 (♩=200)	r 21	お囃子 4 (♩=180)	r 34	童謡 (♩= 88)
3／4	メトロノーム 3／4拍子 (♩=120)	r 9	2ビート 2 (♩=112)	r 22	演歌 1 (♩= 70)	r 35	タンゴ (♩=112)
4／4	メトロノーム 4／4拍子 (♩=120)	r 10	16ビート 1 (♩=120)	r 23	演歌 2 (♩= 70)	r 36	ボサノバ (♩=150)
3／8	メトロノーム 3／8拍子 (♪=240)	r 11	16ビート 2 (♩=112)	r 24	演歌 3 (♩= 70)	r 37	ビギン (♩=120)
6／8	メトロノーム 6／8拍子 (♪=240)	r 12	16ビート 3 (♩=112)	r 25	演歌（ラテン） (♩=100)	r 38	サンバ 1 (♩=120)
2／2	メトロノーム 2／2拍子 (𝅗𝅥= 60)	r 13	バラード (♩= 88)	r 26	演歌（シャッフル） (♩=100)	r 39	サンバ 2 (♩=120)
r 1	8ビート 1 (♩=120)	r 14	シャッフル (♩=122)	r 27	演歌 3／4 (♩= 70)	r 40	スカ (♩=134)
r 2	8ビート 2 (♩=120)	r 15	音頭 (♩=117)	r 28	マーチ (♩=120)	r 41	ハウス (♩=127)
r 3	8ビート 3 (♩=120)	r 16	お囃子 1 (♩=120)	r 29	マーチ 6／8 (♩.=120)	r 42	R＆B (♩= 88)
r 4	8ビート 4 (♩=120)	r 17	お囃子 2 (♩=120)	r 30	ワルツ 1 (♩=108)	r 43	幕開け 1 (♩= 60)
r 5	4ビート 1 (♩=170)	r 18	お囃子 3 (♩=120)	r 31	ワルツ 2 (♩= 92)	r 44	幕開け 2 (♩= 60)
r 6	4ビート 2 (♩=170)	r 19	民謡 1 (♩= 96)	r 32	ワルツ 6／8 (♪=140)		

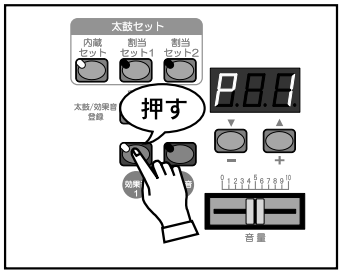
効果音を鳴らす

効果音を鳴らす

本機には、82音色の効果音が内蔵されています。

①「効果音1」、「効果音2」ボタンを押すと、効果音が鳴ります。

※効果音は太鼓パッドをたたいても音は出ません。効果音ボタンを押すことで効果音が出ます。



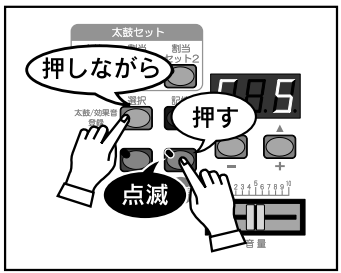
ワンポイントアドバイス

効果音の種類により、ボタンを離すと途中で音が止まるものと、止まらないものがあります。

効果音を変えるには

①「選択」ボタンを押しながら、「効果音1」または「効果音2」の変えたいボタンを押します。
指定した「効果音」ボタンのランプが点滅し、ディスプレイに現在の効果音番号『E○○』が表示されます

②「 ▼ 」、「 ▲ 」ボタンを押して、効果音を切り替えます。



※26ページの効果音一覧をご参照ください。

※選択した「効果音1」・「効果音2」の効果音は、太鼓パッドの音色と同じ様に「割当セット１」または「割当セット2」のいずれかに記憶させることができます。
記憶させる方法は、20ページの「割当セットに音色を登録しよう」の④をご参照ください。
また、元に戻すには20ページの「出荷時の状態に戻す」をご参照ください。

効果音一覧

全82音色

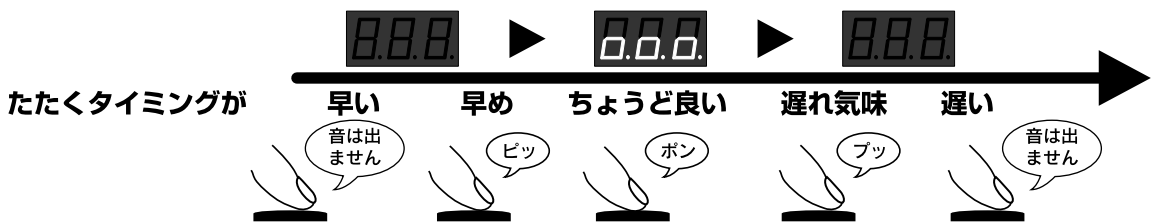
表示	効果音名	表示	効果音名	表示	効果音名	表示	効果音名
E 1	雨	E 2 2	蛙	E 4 3	ストリングスラップ	E 6 4	ウインドチャイム
E 2	雨（強）	E 2 3	虫の声	E 4 4	フルート（キークリック音）	E 6 5	車（エンジン）
E 3	雷	E 2 4	すずむし	E 4 5	笑い声	E 6 6	車（ブレーキ）
E 4	風	E 2 5	まつむし	E 4 6	悲鳴	E 6 7	車（通過）
E 5	波	E 2 6	ウマオイ	E 4 7	パンチ	E 6 8	車（クラッシュ）
E 6	川	E 2 7	くつわむし	E 4 8	掛け声（ヨ）1	E 6 9	サイレン
E 7	泡	E 2 8	こおろぎ	E 4 9	掛け声（ハ）1	E 7 0	電車
E 8	犬	E 2 9	ささら（長）	E 5 0	掛け声（イヤー）1	E 7 1	蒸気機関車
E 9	馬の足音	E 3 0	ささら（短）	E 5 1	掛け声（イヨー）1	E 7 2	汽笛
E 1 0	鳥のさえずり 1	E 3 1	寺鐘　1	E 5 2	掛け声（オー）	E 7 3	漁船
E 1 1	鳥のさえずり 2	E 3 2	寺鐘　2	E 5 3	掛け声（ホ）	E 7 4	船の汽笛
E 1 2	鳥のさえずり 3	E 3 3	銅鑼	E 5 4	掛け声（ヨ）2	E 7 5	宇宙船
E 1 3	かっこう	E 3 4	ほら貝	E 5 5	掛け声（イヨー）2	E 7 6	ヘリコプター
E 1 4	うぐいす	E 3 5	鳴子	E 5 6	掛け声（イヤー）2	E 7 7	スターシップ
E 1 5	すずめ	E 3 6	準備　1	E 5 7	心臓	E 7 8	バーストノイズ
E 1 6	からす	E 3 7	準備　2	E 5 8	足音　1	E 7 9	銃声
E 1 7	ふくろう	E 3 8	ベルツリー　1	E 5 9	足音　2	E 8 0	マシンガン
E 1 8	にわとり	E 3 9	ベルツリー　2	E 6 0	拍手	E 8 1	レーザーガン
E 1 9	かもめ	E 4 0	ギター（フィンガーノイズ）	E 6 1	ドア（キー）	E 8 2	爆発
E 2 0	あひる	E 4 1	ギター（カッティングダウン）	E 6 2	ドア（バタン）		
E 2 1	羽音	E 4 2	ギター（カッティングアップ）	E 6 3	スクラッチ		

練習機能

練習機能とは

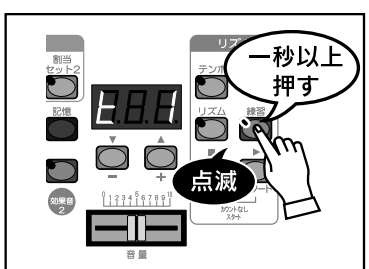
練習機能とは、メトロノームに合わせてパターン通りにタイミングよく太鼓パッドをたたき、リズム感を身につけるための機能です。
選択したパターンより、早いタイミングで太鼓パッドをたたくと「ピッ」という音が鳴り、遅いタイミングでたたくと「ブッ」という音が鳴ることで、タイミングどおり正しくたたけなかったことをお知らせします。また、違う拍のタイミングでたたいた場合は発音されません。選んだパターンどおりにタイミングよくたたくと、指定された太鼓パッドの音が鳴りますので、それぞれのパターンの練習ができます。

この表示が出るタイミングでたたくと、太鼓パッドの音が鳴ります。

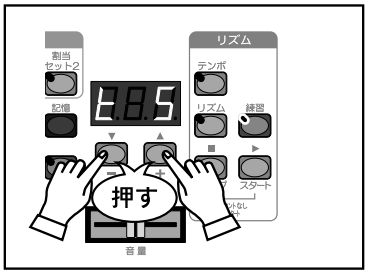


練習機能の使い方

① 「練習」ボタンを一秒以上押し続けます。
「練習」ボタンのランプが点滅し、ディスプレイに現在のパターン『ｔ○○』が表示されます。

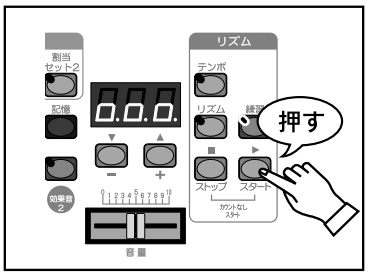


② 「－」、「＋」ボタンを押して、練習パターンを選びます。
29ページの練習パターンをご参照ください。



③ 「スタート」ボタンを押すとカウントが入った後にメトロノーム音が鳴ります。
ディスプレイにたたくタイミングで『０００』が表示されます。
パターンに合わせて好きな太鼓パッドをたたいてみましょう。

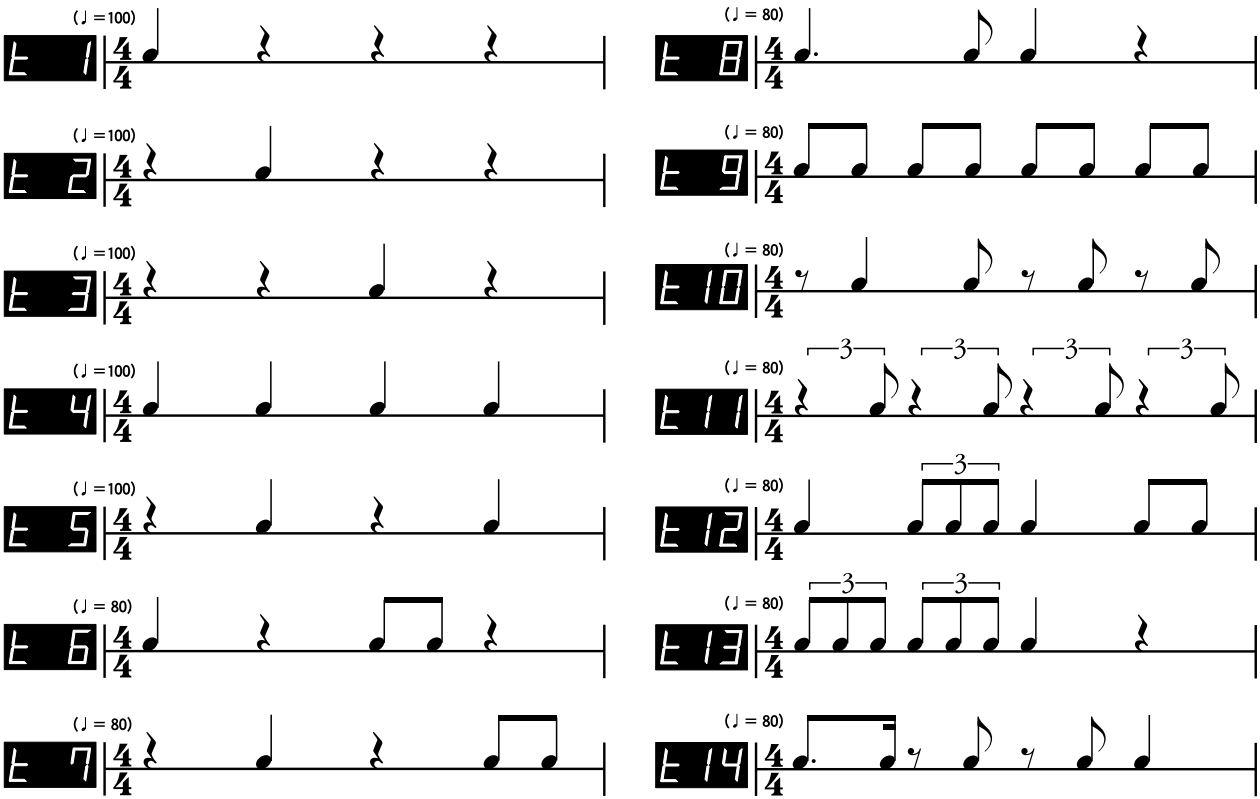
※たたいた強さによる音の強弱はつきません。
※練習モード中、効果音は通常通り音が出ます。



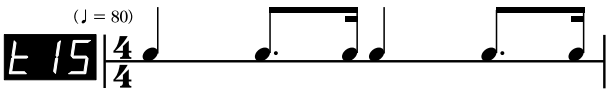
④ 練習を停止するには「ストップ」を押します。停止中に「リズム」ボタンを押すと、
練習モードが解除されます。

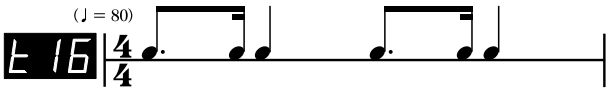
※練習機能のテンポも、リズムと同様に変えることが可能です。詳しくは24ページをご覧ください。
※練習機能使用時にテンポを速くしていくと、パターンによっては正しく判定されなくなります。

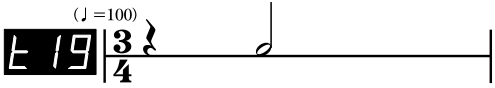
練習パターン一覧

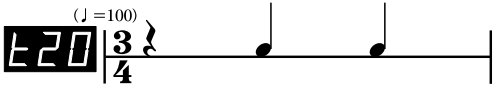
( )内は初期テンポ

練習パターン一覧

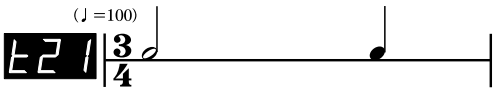
( )内は初期テンポ

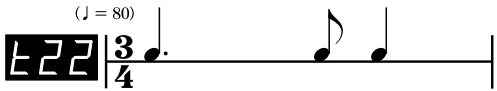


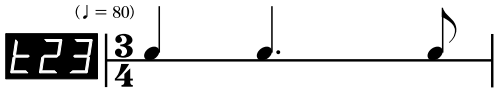


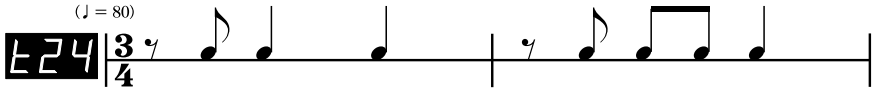


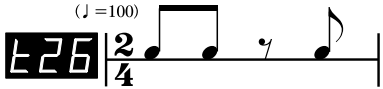


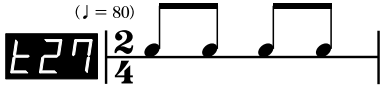












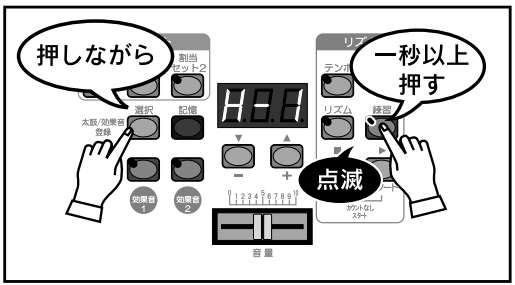
練習機能

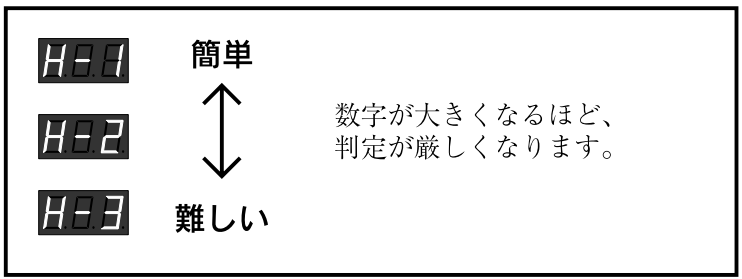
判定レベルの調整をする

練習機能の難易度を調整することができます。レベルは1から3までの3段階あります。

① 「選択」ボタンを押しながら、「練習」ボタンを一秒以上押し続けます。
「練習」ボタンのランプが点滅し、ディスプレイに現在の判定レベル『H－○』が表示されます。

② 「 ▼ 」、「 ▲ 」ボタンを押して、判定レベルを選択します。





※電源を切ると判定レベルは1に戻ります。

その他の機能

フットスイッチについて

本機にフットスイッチ（FS-9H)を接続することによって、リズムのスタート・ストップをさせたり、太鼓パッドと同様、発音をさせることができます。

フットスイッチの接続

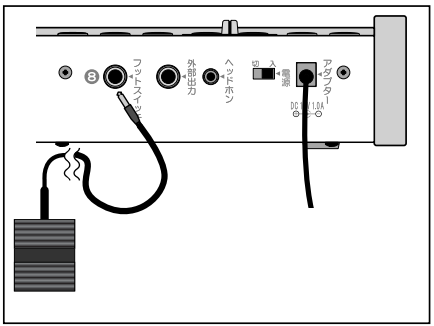
① 本体の電源を切ります。

② フットスイッチを「フットスイッチ端子」に接続します。

③ 本体の電源を入れます。

④ フットスイッチを踏むとリズムがスタートします。

※フットスイッチでリズムや練習をスタートさせた場合カウントは入りません。

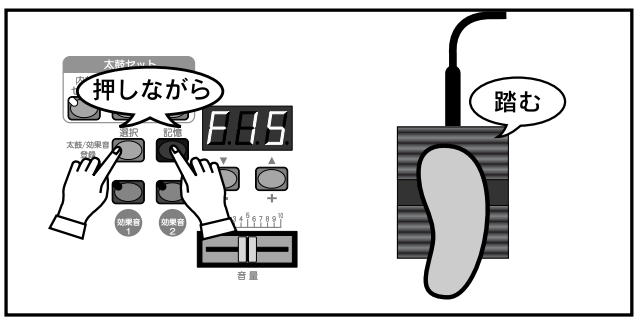


フットスイッチの機能を変更する。

① 「選択」ボタンと「記憶」ボタンを押しながら、フットスイッチを1回踏みます。ディスプレイに現在の状態『Ｆ１〇』が表示されます。

② 「－」、「＋」ボタンを押して機能を選択します。
（『Ｆ１Ｓ』スタート・ストップ、『Ｆ１８』発音）

※フットスイッチで発音した音には強弱はつきません。
※フットスイッチの機能は、電源を切るとスタート・ストップの機能に戻ります。
※フットスイッチの音色は、19ページの「割合セットに音色を登録しよう」の要領で選択することができます。



太鼓パッドの感度の調整をする

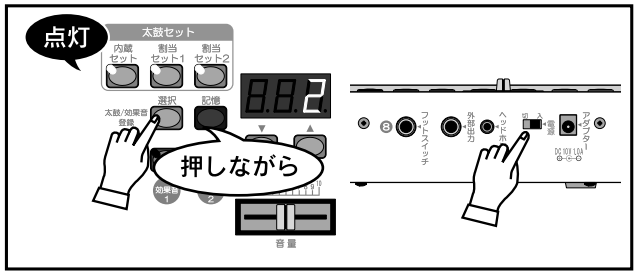
本機では、太鼓パッドの感度を１～４の４段階で調整することが可能です。（初期設定は2になっています。）

① 「選択」ボタンを押しながら電源を入れます。
「内蔵セット」、「割当セット１」、「割当セット２」のランプが点灯し、ディスプレイに現在の感度が表示されます。

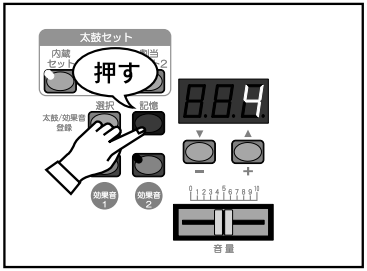
② 「▼」、「▲」ボタンを押して、感度を選択します。

感度はそれぞれ
『1』初期値よりも小さな音から大きな音までのたたいたときの変化が大きくなります。
『2』初期値の状態です。
『3』たたく強さによる変化が少なく、演奏しやすい音量が保てます。
『4』どんな強さでたたいても、一定の音量で音が出ます。

※実際に太鼓パッドをたたきながら感度を確認できます。



③ 「記憶」ボタンを押すと、「内蔵セット」、「割当セット１」、「割当セット２」のランプが点滅し、本機に感度を記憶します。
記憶が終了すると、通常電源を投入した状態に戻ります。



ワンポイントアドバイス
電源を切っても設定した感度は記憶されていますが、出荷時の状態に戻す操作（P20）を行うと、初期値『2』に戻ります。

故障と思う前に

故障かな?と思ったら、もう一度下記の項目をご確認ください。それでも症状が解消しない場合は速やかに電源を切り、アダプターを外して、お買い上げの販売店または最寄のスズキ営業所にお問い合わせください。

症　状	原因	処置
音が出ない。	「電源スイッチ」が入っていない。	「電源スイッチ」を入れてください。
	「音量ツマミ」が下がっている。	「音量ツマミ」を上げてください。
	「ACアダプター」が外れている。	「ACアダプター」をコンセントに挿してください。
	パッドに音色番号0番（サイレント）が選択または、登録されている。	違う音を割り当ててください。
音が小さい。	「音量ツマミ」が下がっている。	「音量ツマミ」を上げてください。
音色によって音の大きさが違う。	電子楽器の性質上、音色により音の大きさが異なることがあります。	異常ではありません。
演奏中に雑音が入る。	電気製品や蛍光灯のスイッチを入れたり、切ったりすると雑音が入ることがあります。	演奏中は電気製品や蛍光灯のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。
練習機能にならない	練習機能にするためには、1秒以上ボタンを押し続ける必要があります。	「練習」ボタンを1秒以上押し続けてください。